

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポピー伊川谷			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日 ~ 2025年 3月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2024年10月 1日 ~ 2024年 11月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年3月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの工夫 1人1人に合わせた個別療育を行っている。	その日の登所児童に合わせた集団活動を考え行っている。 親御さんと年1回面談を行いその児童に合わせた個別療育を行っている。	活動の振り返りを行い、反省を生かした活動を行っていく。 送迎時などに親御さんと情報共有を行い、より良い個別療育を行う。
2	同グループ内に5事業所あり、連携を取り子どもの支援を行っている。	・児童の困りごとなど、似たような事例があった場合に情報共有を行っている。 ・活動の共有も行い色々な活動に取り組んでいる。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋に入るのに階段がある。	歩くことが不安定な児童が階段の昇り降りが大変	マンションなので手すりを付けることが難しい為、必ず側に側につき、児童によっては手を繋ぎ転倒が無いよう配慮する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、その他の地域の子供と活動する機会を持っていない。	現在は放課後児童クラブや児童館との交流はできていない。	・諸機関との交流について、検討していく。 ・外あそびの時に地域の子ども達と交流が出来るように工夫する。
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ホピー伊川谷	公表日	R7年3月31日				
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1	0	0	・いつも綺麗にしていたいっていると思う。部屋の飾りも素敵 ・広々としたスペースで子どもも活発に動いている。	利用定員に応じたスペースの確保は出来ている状況を保護者の方にご理解して頂けるように努める。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	4	・職員案内等がなく何名体制なのか不明	人員配置については今後もわかりやすいよう保護者への説明を行い、ご理解いただけるよう努力していくとともに、疑問や不安を感じることがあれば随時お話を伺い、解決していく様努めています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3	0	2	・階段に手すりがあるといいと思う。 ・子どもに分かりやすく構造化された環境であるため色々な決まりも理解できスムーズに出来てお一人で出来ることも増えた	建物の2階という部分については今後も改善することが難しいため、階段の昇降には十分注意しカギ等ないように気を付ける。なお、情報伝達や利用者に配慮した構造環境については利用者それぞれの特性を把握し、情報を共有するとともに、保護者や学校との連携を密にしながらできる限り快適に安心して過ごせるよう今後も努力していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	2	・いつも快適に過ごせている。掃除も行き届いており清潔な環境であると感じている	毎日次亜塩素酸ナトリウムを使った掃除をしている旨をお伝えするなど周知していただきくよう努めています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	24	1	0	1	職員の保有資格等が不明のため実際分からない。	職員の資格については今後もわかりやすいよう保護者への説明を行い、ご理解いただけるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	24	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1	0	0	・季節イベントなど一年を通して楽しめている ・職員方のアイディアにはいつも感心させられます。	日頃のプログラムの内容を実施項目だけではなく、目的やそのプログラムの意図をご理解いただけるよう送迎時のやりとりや連絡ノートで伝達していくよう努力していきたいと考えています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1	4	12	・子どもが楽しみ満足して参加することが大切と考えているので交流は特に希望しない。	地域の子どもとの交流は、人的要因やスペースの確保などを安全面において解決できていない場面が残る。それらが解決できるようあれば保護者の皆さまからの意見も伺いながら取り組んでいきたいと考えています。なお、近隣の公園などで遊びぶ時には地域の子どもたちと一緒になることもあります。道具の貸り合いやボール遊びや鬼ごっこなどを一緒に行うこともあるのでそちらについては今後も取り組んでいきたいと考えています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	2	7		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	2	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	6	7	8	・兄弟同士の交流もあれば嬉しいと思っていたが、思春期になり学校も忙しくなり、あっても参加するのは難しい ・コロナのこともあるので今はひ必要ないと思う。 ・子ども達と接する事に時間をとつてもらう方が大切と思う。	父母の会等を立ち上げる予定はないが、年に1度の懇親会は新型コロナウイルスが落ちていた時期に開催を予定している。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	2			

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	25	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	0	0	1	・おたよりをすごく楽しみにしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	0	0	3	・土曜日だけの利用なので分かりません。	年3回避難訓練を行っている事を保護者の方へ周知を積極的に行うように努める。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	0	3	・けがをしたことがないので分からない。	事故等（怪我等を含む。）が発生しない事が一番だがもし発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明するようにしてほしい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	1	・放課後の居場所というだけでなくお友達や職員と過ごす中でいろんな成長があり、いろんな経験も出来る場。 ・職員の方が優しく見守って下さるのでとてもリラックスしていると思う。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	0	・いく事をとても楽しみにしている。 ・友達もでき、とても楽しんで通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1	0	0		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ボビー伊川谷				公表日	R7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	法令に定められたスペースより広いスペースを確保している。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	法令で必要とされている職員配置を行っている	法令遵守していく。 職員の体調不良など緊急時の対応をしっかりと行い今後も人員確保に努めていく。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	2階に事業所があるため部屋に入るのに階段を登らないと行けない為必要に応じて手を繋いで階段を登るようしている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日次亜塩素酸ナトリウムを使った掃除をしている。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個別療育や宿題を行いスペースを確保している。	個別療育や宿題を行いスペースを確保しているが仕切りがない為、気が散りやすいので集中して取り組めるよう配慮が必要である。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	普段からコミュニケーションをしっかり図り職員の意見などを把握し業務改善に繋げている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	巡回支援の受け入れを行っている。	頻度としては少ないが協力してくれる機関を増やしていく必要がある。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	毎月ボビーだよりを作成し、各家庭に配布している。 翌年には一年間のDVDを作成し配布する。	今後も続けていく	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	毎年面談を行い、子ども主体となるような課題、将来を見据えた課題で作成している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎月の会議の時に児童の話をし共通理解をした上で計画書の作成をおこなっている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画書を作成後、親御様にサインを頂いた後、全職員に共有し支援を行っている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	契約時には台帳シートを使用し、保護者からアセスメントを行い、その後は日々の記録を使用しながら発達の確認をしている		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	子ども達の発達段階と障害特性の把握に努め、個々に応じた支援内容を示している		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	活動内容を職員同士共有しより良い活動になるように意見を出し合っている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	毎日違う職員が活動を子どもに合わせた活動を考え行っている。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	子どもの状況に応じて必要であれば保護者と面談を行い計画をして支援を行っている。		

支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	8	0	
	21	8	0	基本的には支援後すぐに振り返りを行っているが、送迎の関係で退勤時間が来てしまう場合は次の日の朝にも振り返りを行っている
	22	8	0	毎日の記録を必ず行い支援の改善等に繋げている。
	23	8	0	6ヶ月に1回モニタリングをしているが、必要があれば1か月でも3ヶ月でもモニタリングを行っている。
	24	8	0	
	25	8	0	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	26	8	0	児童発達支援管理責任者や児童支援員が参画を行っている
	27	8	0	
	28	8	0	学校の先生や保護者から情報共有を行っている。
	29	4	4	サポートブックやあゆみ等を頂き情報共有を行っている。
	30	4	4	放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。
	31	4	4	
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	32	5	3	行っていないが、外出時に地域の子ども達と関わる機会がある。
	33	8	0	会社としては参加している。
	34	8	0	送迎時や連絡帳を通して必ず行っている。
	35	5	3	
	36	8	0	契約時に丁寧に説明を行っている。今後も続けていく
	37	8	0	保護者とは面談を行い、事前にアセスメントシートや子供の様子を記入してもらっている。
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	38	8	0	
	39	8	0	定期的な面談以外に、保護者様の話を聞く機会をもち、支援と助言に取り組んでいます
	40	4	4	以前は懇親会を行っていたがコロナ後は行っていない。
	41	8	0	今後、懇親会を開催する予定にしている。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報については鍵付き書庫に入れて鍵をかけている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	連絡ノート、送迎時、電話での対応等で情報共有ができるようにしている。視覚的な支援を行うなど、子ども一人一人に配慮して支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	以前は行っていたがコロナ後は行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	契約時や面談時に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	契約時にアレルギーの確認を必ず行っている。 食物アレルギーがある児童のおやつは成分表を見て入っていないものを買い全職員が分かるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	職員で周知し、取り組んでいる。安全を第一に考えた支援となるようにしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	日報に記入欄を設け、職員全員で共有して、対策や危険察知に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に虐待研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		身体拘束に該当する可能性のある児童の利用があった場合には、子どもや保護者に事前に十分に説明を行い、決められた手順を守り行えるようにする。